

科目名	通信工学I		英文表記	Communication Engineering I		2013/2/15	
科目コード	4207						
教員名: 新任教員 技術職員名:						作成	
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
情報通信システム工学科			4年	必	学修	2単位	講義
科目目標	通信の必要条件、これを達成するための技術の体系を理解し、通信に係る基礎知識を習得してこの分野の技術文書等を読解でき、基本的な事項に関しては、数式等を用いて定量的に表現し、計算できる。 ※ 新任教員のため内容の変更があります。						
総合評価	定期試験(後中間・後期末)(100%(各50%)) ※ 新任教員のため内容の変更があります。						
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法		目標割合
	①	通信の必要条件、これを達成するための技術の体系を理解する。(A-4)			⇒	定期試験によって評価する。	40%
	②	通信に係る基礎知識を習得してこの分野の技術文書等を読解できるようにする。(A-4)			⇒	定期試験によって評価する。	30%
	③	基本的な事項に関しては、数式等を用いて定量的に表現し、計算できる。(A-4)			⇒	定期試験によって評価する。	30%
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	情報通信システム工学	
	○		◎		JABEEプログラム教育目標	A-4	
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		100	0	0	0	100	
基礎的理解	②③	50				50	
応用力(実践・専門・融合)	①②	50				50	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0	
主体的・継続的学修意欲						0	
授業概要、方針、履修上の注意	通信の基礎技術として、通信システム概要、通信情報の種類、信号の取扱方、変調について、教科書の構成に沿って体系的に学ぶ。 ※ 新任教員のため内容の変更があります。						
教科書・教材	通信工学概論(森北出版社)・配布資料						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8	前期中間試験(行事予定で変更可)				
9					
10					
11					
12					
13					
14			※ 新任教員のため内容の変更があります		
15					
期末	期末試験	[2]			
16	ガイダンス	2	授業の目標, 概要, 進め方, アナログとデジタル	章末問題・レポート	
17	電気通信システムの基本構	2	基本構成, 通信網の形態, 必要条件, 稼働率	章末問題・レポート	
18	電気通信方式	2	交換機動作手順, 制御信号方式, プロトコル	章末問題・レポート	
19	通信で扱われる情報(1)	2	情報源の種類, 音声信号, 画像信号の種類, 走査	章末問題・レポート	
20	通信で扱われる情報(2)	2	映像信号周波数, カラーTV信号, 帯域圧縮	章末問題・レポート	
21	信号波の取り扱い方(1)	2	伝送量の単位と整合, 時間領域と周波数領域, フーリ	章末問題・レポート	
22	信号波の取り扱い方(2)	2	周期方形波の複素フーリエ級数, 標本化関数	章末問題・レポート	
23	後期中間試験(行事予定で変更可)	2		試験対策	
24	アナログ変調方式(1)	2	変調の種類, 振幅変調, 波形, スペクトル, 電力	章末問題・レポート	
25	アナログ変調方式(2)	2	変調の種類, 振幅変調, 波形, スペクトル, 電力	章末問題・レポート	
26	アナログ変調方式(3)	2	変調の種類, 振幅変調, 波形, スペクトル, 電力	章末問題・レポート	
27	アナログ変調方式(4)	2	変調の種類, 振幅変調, 波形, スペクトル, 電力	章末問題・レポート	
28	デジタル変調方式(1)	2	変調の種類, 振幅変調, 波形, スペクトル, 電力	章末問題・レポート	
29	デジタル変調方式(2)	2	変調の種類, 振幅変調, 波形, スペクトル, 電力	章末問題・レポート	
30	デジタル変調方式(3)	2	変調の種類, 振幅変調, 波形, スペクトル, 電力	試験対策	
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	章末演習問題			各2時間×15回	
②	レポート・試験対策			各3時間×10回	
③	※ 新任教員のため内容の変更があります				
<b>備考欄</b>					
(共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) ・ この科目の主たる関連科目: 電子回路Ⅰ(3年), 通信工学Ⅱ(5年), マイクロ波工学(専攻科)					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)